

論文審査の要旨
(Summary of Dissertation Evaluation)

博士の専攻分野の名称 (Major Field of Ph.D.)	博士（ 文学 ） Ph.D.	氏 名 (Candidate Name)	海 阿 虎
学位授与の要件	学位規則第 4 条第 1 項該当		
論 文 題 目(Title of Dissertation) 「満洲国」における農事改良と普及			
論文審査担当者(The Dissertation Committee)			
主 査(Name of the Committee Chair)		教授	勝部 眞人
審 査 委 員(Name of the Committee Member)		教授	中山 富廣
審 査 委 員(Name of the Committee Member)		教授	本多 博之
審 査 委 員(Name of the Committee Member)		教授	金子 肇
審 査 委 員(Name of the Committee Member)		北海道大学文学研究科 教授	白木沢 旭児
〔論文審査の要旨〕 (Summary of the Dissertation Evaluation)			
<p>本論文は、旧「満洲国」（以下煩瑣を避けるため「」省略）の農業改良政策とその進展・普及過程について、満鉄および満洲国当局による調査資料を素材にして研究を行ったものである。</p> <p>20 年ほど前から日本の植民地研究が進み、満洲国についても開拓移民を中心に進展してきた。ただこれまでは植民地政策の解明という発想が強く、それが現実はどう定着したか、しなかったかという視点は弱かった。本論文は、農村社会の現実を踏まえて、その点に切り込んでいる。</p> <p>まず序章において、満洲国の農業・農事改良政策に関する日中両国の研究成果を確認しつつ、本論文の課題を設定する。</p> <p>第 1 章では、科爾沁^{オルチン}左翼中旗第六区郎布窩堡^{ランブツポ}村の事例から、農村社会の歴史的特徴を検討する。近代的な土地所有という社会観念が弱いまま農耕化が進み地主が出現してくるが、それは資力のみならず本旗人という民族や出身地と深い関係があったとする。いっぽう、満洲地域で広く見られる撈青^{バンチン}という存在は外旗人や移民漢族が中心で、日本や中国内地の地主小作関係とは異なり、地主に雇われる農業雇用労働者と見ることができるとした。</p> <p>第 2 章では、北海道農法の満洲国導入のプロセスと結果を、満洲地域の土質・気候等風土的条件を踏まえて検討する。日本人移民の営農悪化という問題解決のため北海道農法の導入が図られるが、成功したのは、農具・役畜や補助金などの条件が整い、かつ北海道の熟練農家や模範的開拓団の場合であったとする。しかし、全体からみれば、現地での雇用労働力確保が困難に直面し、また満洲地域の自然・風土のなかで北海道農法の合理性が発揮されず失敗に帰したという。</p> <p>第 3 章では、満洲国の農事行政機構と大豆の改良・普及について検討する。農事試験場は、日露戦後の満洲経営開始とともに設立され、農事試験や品種の改良普及を担った。大豆の改良は公主嶺農事試験場により進められ、1924 年から改良大豆種子の配布が開始され、1939 年には北満南部まで改良種の普及がみられた。ただ地力減退により、単位面積当りの生産量の増加には結果しなかった。いっぽう満洲国崩壊後改良種と農事試験施設は共産党政権に継承され、その部分で歴史的役割を果たしたとする。</p>			

第4章で棉花増殖・改良事業を、第5章で緬羊改良について検討する。

いずれの事業も、改良・育成した新品種は在来種の欠を補い増産・品質改良に資するものであったが、農民の経済的環境や牧畜慣行とのミスマッチにより、満州国当局による所期の目標を実現することが叶わなかったと結論づける。いっぽうで、大豆と同様、戦後において国民党ないし共産党政権によって試験機構や改良品種が継承され、戦後経済発展の基盤となったとしている。

以上のように、本論文は、植民地政策として実施された農事改良事業を現地の自然環境や風土、あるいは社会慣行を踏まえつつ分析し、その現実的意義を歴史的に検証したもので、研究水準を大きく引き上げたと評価できる。

満州国における植民地政策全体のなかでの位置付け、あるいは中国側の史料発掘や聞き取りによる裏付けなどに課題を残しているが、旧農事試験場の日本人技師等への聞き取りを含む積極的な資料発掘の努力と新しい視点に基づく成果は、十分学界に裨益するものと言えよう。

以上、審査の結果、本論文の著者は博士（文学）の学位を受ける十分な資格があるものと認める。

備考 要旨は、1,500字以内とする。

(Note: The summary of the Dissertation should not exceed 500 words.)